

“デジタル・ムーバ D203HYPER”

大賀哲明* 中井克巳*
福井伸一*
佐藤英樹*

要旨

国内におけるデジタル移動通信方式（Personal Digital Cellular：PDC）の携帯電話は、1993年3月にNTT移動通信網株によって首都圏で商用サービスが開始されて以来、利用料金の低下と端末機の低価格化、小型・軽量化が図られ、これに伴って利用者が増え続けている。特に、ここ数年の加入者の増え方は著しく、'96年度末には国内だけで2,087万人に達した。このような市場の拡大とともにメーカー間のシェア獲得競争はし(熾)烈を極めており、この市場競争に勝つためには、利用者のニーズに合った品質の高い

製品をタイムリーに市場投入していく必要がある。

このような状況を踏まえ、三菱電機株では、NTT移動通信網株の指導の下に小型・軽量で利用者の使い勝手の良さを十分考慮したPDC方式用800MHz帯携帯電話として“デジタル・ムーバ D203HYPER”を開発し、'97年6月に市場投入した。

本稿では、その製品の概要について述べる。

“デジタル・ムーバ D203HYPER”は、NTT移動通信網株の商品名である。



デジタル・ムーバ D203HYPER

小型・軽量で長時間待受け通話が可能な携帯電話“デジタル・ムーバ D203HYPER”は、“ショートメール”サービスに対応した機能を持つとともに、受信したメールを読みやすくするため10文字4行表示の液晶を採用し、さらに、暗い所でもはっきりと液晶が見えるようにEL (Electroluminescence) ライトを採用するなど、利用者の使い勝手の良さが十分に考慮されている携帯電話として高く評価されている。